

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月14日
【四半期会計期間】	第67期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
【会社名】	協同飼料株式会社
【英訳名】	KYODO SHIRYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 林 泰 正
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市西区高島二丁目5番12号
【電話番号】	横浜 045(461)5711
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 大 友 彰
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区高島二丁目5番12号
【電話番号】	横浜 045(461)5711
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 大 友 彰
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月11日に提出いたしました第67期第1四半期（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

（2）財政状態の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第66期 第1四半期 連結累計期間	第67期 第1四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (百万円)	28,187	32,190	117,144
経常利益 (百万円)	235	376	1,484
四半期純利益又は 当期純損失(△) (百万円)	33	46	△118
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	△78	△24	△252
純資産額 (百万円)	<u>13,019</u>	<u>12,497</u>	<u>12,780</u>
総資産額 (百万円)	<u>43,240</u>	<u>45,726</u>	<u>44,438</u>
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額 (△) (円)	0.34	0.47	△1.19
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	<u>30.1</u>	<u>27.3</u>	<u>28.8</u>

(訂正後)

回次	第66期 第1四半期 連結累計期間	第67期 第1四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (百万円)	28,187	32,190	117,144
経常利益 (百万円)	235	376	1,484
四半期純利益又は 当期純損失(△) (百万円)	33	46	△118
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	△78	△24	△252
純資産額 (百万円)	<u>12,427</u>	<u>11,904</u>	<u>12,187</u>
総資産額 (百万円)	<u>42,647</u>	<u>45,134</u>	<u>43,846</u>
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額 (△) (円)	0.34	0.47	△1.19
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	<u>29.1</u>	<u>26.4</u>	<u>27.8</u>

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末の財政状態を前連結会計年度末と比べますと、連結子会社が1社増加したことなどにより、受取手形及び売掛金、有形固定資産等が増加し、総資産は457億2千6百万円（前連結会計年度末比2.9%増）となり、12億8千8百万円増加しました。

一方支払手形及び買掛金等が増加し、負債合計332億2千9百万円（前連結会計年度末比5.0%増）となり、15億7千1百万円増加しました。

また、利益剰余金が減少したこと等により、純資産合計は124億9千7百万円（前連結会計年度末比2.2%減）となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末の財政状態を前連結会計年度末と比べますと、連結子会社が1社増加したことなどにより、受取手形及び売掛金、有形固定資産等が増加し、総資産は451億3千4百万円（前連結会計年度末比2.9%増）となり、12億8千8百万円増加しました。

一方支払手形及び買掛金等が増加し、負債合計332億2千9百万円（前連結会計年度末比5.0%増）となり、15億7千1百万円増加しました。

また、利益剰余金が減少したこと等により、純資産合計は119億4百万円（前連結会計年度末比2.3%減）となりました。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	454	977
受取手形及び売掛金	18,995	19,463
商品及び製品	736	660
仕掛品	447	509
原材料及び貯蔵品	3,288	3,327
繰延税金資産	53	57
短期貸付金	427	293
その他	1,173	1,122
貸倒引当金	△35	△30
流動資産合計	25,540	26,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,107	2,414
機械装置及び運搬具（純額）	2,279	2,392
土地	3,247	3,683
建設仮勘定	474	508
その他（純額）	217	307
有形固定資産合計	8,325	9,306
無形固定資産		
のれん	225	458
その他	319	481
無形固定資産合計	544	939
投資その他の資産		
投資有価証券	※1 3,237	※1 3,083
長期貸付金	2,699	1,912
長期未収入金	4,113	4,076
破産更生債権等	22	19
繰延税金資産	2,318	2,371
その他	620	617
貸倒引当金	△2,983	△2,980
投資その他の資産合計	10,027	9,100
固定資産合計	18,897	19,346
資産合計	44,438	45,726

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	454	977
受取手形及び売掛金	18,995	19,463
商品及び製品	736	660
仕掛品	447	509
原材料及び貯蔵品	3,288	3,327
繰延税金資産	53	57
短期貸付金	427	293
その他	1,173	1,122
貸倒引当金	△35	△30
流動資産合計	25,540	26,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,107	2,414
機械装置及び運搬具（純額）	2,279	2,392
土地	3,247	3,683
建設仮勘定	474	508
その他（純額）	217	307
有形固定資産合計	8,325	9,306
無形固定資産		
のれん	225	458
その他	319	481
無形固定資産合計	544	939
投資その他の資産		
投資有価証券	※1 3,237	※1 3,083
長期貸付金	2,699	1,912
長期未収入金	4,113	4,076
破産更生債権等	22	19
繰延税金資産	2,729	2,783
その他	620	617
貸倒引当金	△3,987	△3,984
投資その他の資産合計	9,435	8,507
固定資産合計	18,305	18,754
資産合計	43,846	45,134

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,365	12,345
短期借入金	7,834	8,208
未払法人税等	99	108
賞与引当金	305	483
その他	※1 3,349	※1 3,747
流動負債合計	22,954	24,893
固定負債		
長期借入金	6,862	6,453
退職給付引当金	1,249	1,272
役員退職慰労引当金	202	116
資産除去債務	273	273
その他	115	219
固定負債合計	8,704	8,335
負債合計	31,658	33,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	3,361	3,149
自己株式	△523	△523
株主資本合計	12,985	12,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△210	△283
繰延ヘッジ損益	2	4
その他の包括利益累計額合計	△208	△279
少数株主持分	3	3
純資産合計	12,780	12,497
負債純資産合計	44,438	45,726

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,365	12,345
短期借入金	7,834	8,208
未払法人税等	99	108
賞与引当金	305	483
その他	※1 3,349	※1 3,747
流動負債合計	22,954	24,893
固定負債		
長期借入金	6,862	6,453
退職給付引当金	1,249	1,272
役員退職慰労引当金	202	116
資産除去債務	273	273
その他	115	219
固定負債合計	8,704	8,335
負債合計	31,658	33,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	2,769	2,557
自己株式	△523	△523
株主資本合計	12,392	12,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△210	△283
繰延ヘッジ損益	2	4
その他の包括利益累計額合計	△208	△279
少数株主持分	3	3
純資産合計	12,187	11,904
負債純資産合計	43,846	45,134

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月13日

協同飼料株式会社
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 村 茂 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩 崎 剛 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている協同飼料株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、協同飼料株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年8月9日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。